



立候補の挨拶

私に來る三十日

行はれる町會議員改選に際し先輩並に同志諸君の熱烈なる應援を、特に町内多數の御推薦に依り再び立候補を宣する事になりました。

昭和四年普選第一次町議選には同情者各位の血みどろなる奮闘の結果、遂に當選の光榮を擔ひ望外の幸でありました。過去四ヶ年間私は一意各位の御厚志に對する報恩を念じて、驚馬に鞭打ち専心町治の爲めに努力して來ました。今や平町は上水道の完成を見、大平市建設の第一歩を踏み出したと云ひ、尙「町財政の基礎確立」「町産業の振興」「文化機關の向上」に對する適切なる方策を樹立すると同時に、緊急施設改善を必要とする幾多の問題が残されてをります。即ち私が切に實現を期したいと思ふ一端を披瀝しますれば。

- 町債の整理
- 商工業の進展を促す諸機關の改善
- 戸數割賦課の公正
- 學校網の確立
- 下水道の完備
- 社會事業的諸施設の實現

等であつて、幸ひ町政に對し眞摯熱烈なる各位の御共鳴に因り當選の榮を得ましたならば、如上の問題解決に心魂を傾注し、更に大平市創設の第一線に立つて努力奮闘する快意であります。

昭和八年五月

平町會議員候補者

馬目雅治

電話五二〇

町議戦を………目前に控へて

親愛なる町民に訴ふ

1 餘す處 僅かに四日に迫つた町議選は、候補者の顔振れもほとんど出揃ひ軍事演習の言葉で言ふならば、すでに前哨戦も終り近く最後の砲聲をきくに至つたものゝ如くである。我々が何故に選挙に對して異状なる興味を感ずるかに就いては今更言ふに及ばざること、去月以來、日刊新聞其の他に於て、候補者たるべしと噂された、人々の數の夥だしきを見てその一端を知ることが出来る。一何故に就いて一應考へておくべきことは町民としての義務でもあり又責任でもあらうと思ふ。

2 何處でも かうしたものがも知れないが、町會初期時代には、町一流の人物が議員となつて町政に參與してゐたものであつた。何處へ出して平町民を代表するに不足のない徳望あり、材幹ある人々のみであつたことが著るしく眼立つ、それが漸次低下したのか、又吾等の標置が高過ぎるためか、どうも見劣りがして來てゐる。米國などでもこの傾向があつて、第一流はツオル街、二流三流がホワイトホースにと言ふ言葉があるさうだが、獨り平町に限らず、他の市町村の議員も一流處は超然として、財産を守るとか、馬鹿氣なことだといつた様な顔をして自治に對してちつとも骨を折らぬといつた姿にある。それがたぬと角面白からざる状態におかれてゐることを遺憾とする。

3 平町會 なども全部がさうだとは言はないが、御多分に漏れぬことは争ひ難い。それは如何なる理由に基くかと言ふに、町民中の不純分子は、その候補者としての人物を選別することには知らないが、金に依つて投票しやうとするのを知り過ぎてゐるからである。町會議員の第一資格は金に非ず、高遠なる知識にも非ず、人格の高いつつかそれから人物の研究といふ順序に對する忠實で、兼ねて抱負した押し太い人物、そして町に對する忠實で、兼ねて抱負した責任を有する者でなければならぬ。徒らに口舌に雄なるものよりも實力の在る者を欲する、しかも町民代表として耻か語つてゐるものである。吾等は先づ人物本位といふことを提唱して町民の注意を乞はんとするものである。

4 重ねて 言ふが、こゝに條件下に於て選挙して貰ひたいと思ふ、町民の全体が、こゝに心を持つて、自分を代表して町政を論議按排宜ろしきを制して呉れる人だと思つたら金を貰ふと云ふ氣などにはなれない許りか、手辨當で運動もしてやらねばならない義理を感ずるであらう。金さへあるなら、その足らざる費用の一端を負担する氣にもなつて來るのである。それがあべこべに、候補者から絞りとらうなんて悪い奴等があるのだから吾々としても遺憾に感ずると同時に、廓清を期せねばならぬと思惟するの蓋し止むを得ざるが爲で、こゝも解り切つたことを何へんも繰り返して論ずることになるのである。

- 町會議員候補者 鈴木光吉 責任者 阿部治作 平町鎌田町
- 町會議員候補者 吉村安次郎 責任者 屋島廉輔 平町研町
- 町會議員候補者 坂本隆藏 責任者 渡邊貫一 平町一丁目
- 町會議員候補者 高橋龜松 責任者 宮崎善太郎 平町白銀町
- 町會議員候補者 野崎滿藏 責任者 小齊五郎 平町田町
- 町會議員候補者 松崎長太郎 責任者 藁谷喜太郎 平町新川町

自己の信頼する人物の上に

清き一票を生かせ

(甫生)

① 従來の諸般の發達狀況を見るに、大都市を中心として、その地方に於ける市町村が發達を促進されてゐる狀況にある。それが漸次府縣の代表都市に及び、その縣内の市町村に及ぶ。この順序になるのである。この傾向は、どうしても拒否する譯には行かないし、又順序でもあらう。それは中心となるべき其の都市には敏感性を持つアンテナのやうな夫々の機關が備はつてゐるからであらう。

思想方面に於てもさうした傾向がうかがはれる。選挙そのものに關する問題でもさうである。これを認めざるを得ない。全國の各都市を見るに最近何れも選挙人は自覺して來てゐる。衆議院議員選挙の場合は無論のこと、府縣市町村議員選挙に於ても左様な傾向は顯著となつて來てゐるのである。吾等はその傾向を非常な楽しみに眺めてゐたのである。

吾等も亦その聲に共鳴し、出來する處がないといふ事にもなる得る限り言論の高所から革正を斯くの如くにして彼等は政黨を叫び、その淨化を當局並びに當益々腐敗墮落せしめて止む處なきに至つたのである。吾等はこれを眼にみて、漸次町村に及ぶものなりと自己斷定が確立するの機会を待たつたからである。然るに、その望みも薄らぎ、却て惡政黨の否認論さへも起つてゐる。化すの風がある、都市が自覺した狀況にあるといへるのである。固より町村が自覺の遅いのは種々なる原因もあらうが、現在の狀況では選挙そのものに對する理解がないといふより外はなほ得ない。吾等は今日に於て何を言はんやと言ひたいが、今年に入つて行はれたる全國の市會議員選挙はその數二十に及んでゐるが、稍懸念するに足るものがある。それは何であるかと言へば、大勢に於て斷然、民政黨が勝ちを制してゐると云ふことである。我等は民政黨必ずしも理想の政黨なりとなすものではないが、協力内閣下において比較的公正な行動をとり、國家の重きに任せんとする非常時の態度に共鳴する點が存するといふのである。

② 何故なれば、過去十數年間の選挙界は腐敗を重ね全く墮落し切つたと言つてよい、世をあつて選挙の革正を叫び、淨化を要求して止まないのを見ても極めて明瞭に、國民自らが選挙界の腐敗に驚異の眼を睜つてゐるといふことがわかるのである。

吾等は事々好むものではないが、救濟事業の不正事件が起る毎に、これまでも選挙問題にからんで、先づ選挙に理解あると説いて來たのも淨化を望むるのである。吾等はその傾向を非常な楽しみに眺めてゐたのである。然るに目下縣下に行はれつゝある町村議員選挙狀況はどうかと言へば、遺憾ながら公正な行動をとり、國家の重きに任せんとする非常時の態度に共鳴する點が存するといふのである。

③ 政友、國同に至つては、其の如何なるに傾着しないと云ふ證據にもなり、亦進んでは政黨の主義政策などにも何等關係を有するのである。前記二十餘行は

れたる市議戦に於ても、正理正得である。選挙界の論の存在を忘れ、民政黨を挾撃革正を期する上からも斯かる結果をみたことを喜びとする。ではあつたが、各都市に於ては、平町も來る卅日の選挙を控へて、それが失敗を招いた所以のものは果して如何なる結果をみるかは都市の人士がその政黨を能く見知らぬが、少しはこの選挙に於て自覺ある態度を示して貰ひたいと思ふものである。要は何時代にも眼を覚めたと言ひ得るのたいと思ふものである。要は何である。即ち水戸、秋田、松江の派、何れの人物が正しきか富山、酒田の如きは斷然非を斥を見て選挙に望むべきであるとして、正を履んだ都市だと言ひ思ふ。

新版 選挙いろは歌留多

登 仙 人 作

い、出で、歩るげば票にあたり、論より運動
は、花より一票
に、憎れ候補よく落ちる
は、骨折り甲斐で票ももうけ
と、當選の祝ひ酒
ち、塵も積つた最高點
り、理智義者の票たくさん
ぬ、盗すまれるぞ晝寝
る、瑠璃も破璃も光る榮冠
を、追いつ手を氣にするな
わ、忘すられぬ當選
か、買つた票が罪を産み
よ、他所の事務所をおり
のぞけ
た、立てば道伴れ
れ、良酒は獄ににがし
そ、總票の順
つ、月夜に票盗まる
ね、寝んには寝んを得ず
な、なくして票に恥ぢ
ら、樂觀は悲觀
む、無理な候補どうせひっこ
め、運動から出た一票

の、縁のえな票
の、咽喉も過ぐれば投票忘
れ
お、落ちる金票
く、嗅い票にはふり向くな
や、安うけ合ひの票失ひ
ま、また又勝ち
け、藝は票をたすく
ふ、文はやりたし違反は恐し
こ、戸別訪問づつゝなき
え、えてに票あり
て、ていさいばかりの赤い票
あ、あてにする票遂書かず
さ、三軒廻つてただ一票
き、聴いて當選見て落選
ゆ、油斷大敗
め、眼にみえぬ得票
み、身から出た落選
し、知らぬ逃票
る、猪の逃げたも御損しない
か

ひ、非望効なし
も、問題の要貫らはぬ方がよ
い
せ、錢で票は買へられず
す、すばいは身を喰ふ
ん(京)今日の夢は當選のゆめ

立候補挨拶

拜啓初夏新緑の候高堂益々御多祥慶賀此事に奉存候
扱て此度町會議員選挙に際し過般來先輩知友
より出馬方に付懇切なる徳意相受け候へ共小生元より其の
器に非らずと思考致居候實は去就に付き遂巡躊躇罷在候
次第に有之候、然るに町内御一同の御推薦も有之徒らに一
身一家の倫安をのみ顧念致すべきものにあらず、且つ亦町
政に參與し奉公の至誠を致す事町民當然の奉仕と確信し
敢然出馬致す事決心仕候、然れども果して
克く御期待に添ひ得るや否や心中私かに忸怩たるもの有之
候へ共幸ひ貴下の御同情と御後援に依り當選の榮を擔ひ候
上は粉骨碎身町政の爲め献身的努力を傾倒致す覺悟に候間
是非特別の御同情を賜はらん事を切に奉懇願候
先は不取敢御挨拶旁々御願迄如斯に御座候 草々頓首
昭和八年五月

サカ イ キヨシ
酒 井 清
福島縣平町田町六五
責任者 中 島 孟

御挨拶

今回平町會議員の改選に際し私儀町内有志先輩各位の切なる御薦めに依りまして、不肖をも不顧茲に再度立候補を決意致しました。顧みれば各位の益を、が如き御同情と御支援によりまして、町政參與の光榮を荷ひ、任期四ヶ年の間大過なく今日に及びました。其の間、些かなりとも町治運行の機微を体得し、眞に公僕たり得るの自信を有するに至りました。

幸ひにして今次の改選に各位の御後援と御芳情により、再び町政に參與するの機を得ました。曉は、不肖魯鈍に鞭ち、大平市建設途上の一礎石として町治に盡瘁、粉骨の勞を致すべき覺悟であります。

何とぞ格別の御後援を御願ひ申上げます。

昭和八年五月

セキ ウチ シヨウウ イチ
關 内 正 一
平町二丁目拾番地

和洋銅鐵金物問屋

益屋商店

電話九番・九九番

帝國未曾有の

五・一五事件發表

當局はこれを如何に處理すか？

(1)

昨年五月 十五日帝國未曾有の事件として天下を震撼せしめた所謂、五・一五事件は、去る十七日午後五時を以て發表され、その全貌が漸く白日下に曝され、政界は相當緊張の度を示し來つたことは争はれない事實である。五・一五事件は、事件内容に於て獨立したる大事件であつて、司法當局並に陸海軍當事者は、如何にこれを處理せんとするかは、國民のたいに待望する處のものであるが、更にこの事件と不離の關係にあるが如く見らるゝのは政局の轉移そのものであるが、吾等はどうか考へ直しても五・一五事件の發表と政變なるものを不離の關係におくこと云ふことは到底出來得ない。今時に、何故に斯様に解さねばならないかを考ふる時に苦笑を禁じ得ざるものがある。

況んや (3)

大藏大臣たる高橋氏が何んの理由であつて、その進退を斯かる事件に左右さるゝかである。苟しくも常識あるものゝ齊しく不可解なりとしてゐる處である。恐らくは、チャータリズムの敏感が判断性に陰影を投げたものと見るに至當とすべからざることを知つた爲であるか？亦政變はその時機に非ざる事になつたが爲なのであらう。吾等は何れにしても近頃の政局に多少の愉快を感ずる。何となれば五・一五事件に伴ふ政變當時、政友會が三百名の黨員を有しながら、時局を擔當する資格なきを暴露した爲に、大命が齋藤子に降下して、所謂舉國一致内閣の出現となつたのであるから、組閣の意義に則つて政治外交は無論のこと、五・一五事件の善後措置を完からしむることは政黨としても國民として一致して執るべき道でなければならぬと思ふのである。

(2)

無論 爲めにする政黨の言説ではあるけれども、五・一五事件の豫審終結の内容發表と共に齋藤内閣が總辭職の途を辿るべき秋なるが如く、宣傳し來たものなればならぬ。しかしして吾等もあるが、吾等は、如何に牽強等が斯く考ふることに依つて高附會の徒説と雖も司法權の動向橋藏相の言辭は正當に解釋し得ると現内閣の政治的生命が道伴れることなるのである。何となれば、藏相は國家の財政を擔當す、よし、内閣にこの事件が關する限り、司法問題に何等の責任があり、責任があるとするならば、大養内閣の責任を繼承しある。

斯くの如く (4)

た時、高橋藏相最近の動靜が腑におちて來るのである。藏相が一人として鈴木總裁との關係上、默契ありや否やの問題は茲には取りあげてはならない。高橋藏相は今や國務大臣として國家財政の重きに任じてゐるのであるから、私情に依つて動くやうなことはしないものとみるのが國民の禮であるからである。高橋藏相が今後の行動を如何にするか、亦進退を如何にするかは、興味ある問題ではあるが、吾等の解釋通りとすれば、進退と云ふことは考へる丈でも、國家に忠實なものでないことにもなる。それかあらぬか高橋藏相はこの進退問題には觸れず、その椅子に凭つて、多難な國家財政の基礎を確立するために専念してゐる姿を見せられてゐるではないか。

彼の政友 (5)

會も最早や事件發表と現内閣が不離の關係にあることを説く事を避けてゐる。是は彼等がその非を悟つた爲であるか？亦政變はその時機に非ざる事になつたが爲なのであらう。吾等は何れにしても近頃の政局に多少の愉快を感ずる。何となれば五・一五事件に伴ふ政變當時、政友會が三百名の黨員を有しながら、時局を擔當する資格なきを暴露した爲に、大命が齋藤子に降下して、所謂舉國一致内閣の出現となつたのであるから、組閣の意義に則つて政治外交は無論のこと、五・一五事件の善後措置を完からしむることは政黨としても國民として一致して執るべき道でなければならぬと思ふのである。

候補者一覽表

順位	得票數	黨別	町名	候補者氏名
1	185	政	白	高橋龜松
2	159	政	研	吉村安次郎
3	144	政	五	井上茂作
4	143	政	南	萩原義雄
5	140	政	二	關内正一
6	132	民	田	野崎滿藏
7	130	民	緋	吉田寅之輔
7	129	(中)新	緋	堀喜一
9	120	政	月	根本品藏
10	113	政	材	石山治三郎
11	110	政	五	馬目武之助
12	109	政	田	酒井清
13	108	政	南	小松茂
14	106	政	川	川崎文治
15	104	政	新	松崎長太郎
16	93	政	鎌	鈴木光吉
17	92	政	八	吉田金作
18	91	政	南	齋藤寅吉
19	90	政	四	佐々木龍若
20	88	民	立	荒川淺次郎
21	88	民	緋	馬目雅治
22	86	民	鎌	佐藤岩次郎
23	86	政	久	會川延太郎
24	86	政	大	大和田與兵衛
25	84	民	搔	吉田五平
26	82	政	胡	花澤久一郎
27	79	民	白	櫻井清
28	76	民	古	永山富廣
29	73	政	一	坂本隆藏
30	73	民	搔	緑川喜三郎
30	73	民	南	齋藤角治
次	70	民	新	丸山春藏
次	69	政	鎌	猪狩寛徳
次	61	民	仲	佐藤幸太郎
次	60	政	北	新井滋藏
次	58	政	大	多田井笑次郎
次	33	無	野	野佐次郎

前回町議戰結果

順位	得票數	黨別	町名	當選者氏名
1	185	政	白	高橋龜松
2	159	政	研	吉村安次郎
3	144	政	五	井上茂作
4	143	政	南	萩原義雄
5	140	政	二	關内正一
6	132	民	田	野崎滿藏
7	130	民	緋	吉田寅之輔
7	129	政	搔	千葉彦治
9	120	政	月	根本品藏
10	113	政	材	石山治三郎
11	110	政	五	馬目武之助
12	109	政	四	猪狩庄平
13	108	政	緋	國府田直良
14	106	民	柳	柳下元吉
15	104	民	新	武田元之助
16	93	政	鎌	鈴木光吉
17	92	政	城	青沼鋒太郎
18	91	政	南	大森勇
19	90	政	四	佐々木龍若
20	88	民	立	荒川淺次郎
21	88	民	緋	馬目雅治
22	86	民	鎌	佐藤岩次郎
23	86	政	久	會川恒次郎
24	86	政	田	齋藤敏實
25	84	民	搔	吉田五平
26	82	政	胡	花澤兎五六
27	79	民	白	櫻井清
28	76	民	古	永山富廣
29	73	政	一	坂本隆藏
30	73	民	搔	緑川喜三郎
次	70	民	長	遠藤林松
次	69	政	材	瀧澤俊平
次	61	民	白	松永友太郎
次	60	政	緋	加納五郎
次	58	政	搔	佐々木健一郎
次	33	無	田	宇佐見友次郎
次	33	政	野	小野伊佐治